

Doc. No.: MTNL070618

2007年6月18日

サーマルCTPのエントリーモデルを発売 ～CTPラインアップのさらなる充実を図り、国内市場のニーズを網羅～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都府上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、商業印刷と新聞印刷の各業界向けに、初期導入コストの低減を実現するサーマルCTP「PlateRite Niagara (プレートライト ナイアガラ)」と「PlateRite News 2000LE (プレートライトニュース 2000エルイー)」の2機種を開発。国内市場において2007年6月から販売を開始します。

近年における印刷・製版設備のデジタル化とCTP導入の流れは、印刷品質の飛躍的な向上や大幅な納期短縮を実現し、印刷業界に大きな革新をもたらしました。そして、国内市場にCTPが普及した現在、大量のジョブに対応するために生産性と自動化を追求するばかりでなく、あまり生産性を求めないユーザーを中心に、イメージセッターで処理しているジョブをCTPに置き換え、高品質と短納期対応を実現する低価格なエントリーモデルへの新たなニーズが広がりを見せています。

当社は、このような業界の動向を背景に、初期導入コストの低減を実現するサーマルCTPとして、商業印刷向けマニュアル操作モデル「PlateRite Niagara」、新聞印刷向けモデル「PlateRite News 2000LE」を開発しました。「PlateRite Niagara」は、新技術の導入によって開発に成功した専用の露光ヘッドを搭載するほか、最大版サイズ1,060mm×820mm(A1ワイド)に対応。基本仕様とコストバランスの追求により、購入ユーザー層が求める1時間当たり11版^{※1}の生産性と高品質な刷版出力を低価格で提供します。また、「PlateRite News 2000LE」は、新聞業界向けに特化したサーマルCTP「PlateRite News 2000 (プレートライトニュース 2000)」のエントリーモデルで、新聞のカラー紙面の増加に伴うCTP化のニーズに応えるものです。エントリーモデルでありながら、国内で一般的な1L2W^{※2}版の場合、1時間当たり26版^{※3}の生産性を実現するなど、瞬発力を必要とする新聞印刷に対応するとともに、搭載機能の限定による低価格化を図っています。

当社は、今回発売する2機種をCTPのラインアップに加えることにより、世界トップシェアを誇る「PlateRiteシリーズ」のさらなる充実を図るとともに、国内のCTP市場の幅広いニーズを網羅し、市場の拡大を目指します。そして、当社は印刷・製版業界のリーディングカンパニーとして、今後ますます多様化するユーザーニーズに応えていきます。

※1 プレートサイズ1,030×800mm、2,400dpi時

※2 新聞紙を見開いたサイズの版を表す。国内では890×586mmのサイズが主流。

※3 1,200dpi時

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 企画統轄部 商品企画部：
Tel 075-414-7610 Fax 0774-43-1367 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目



PlateRite Niagara



PlateRite News 2000LE

☆ この画像の印刷用データ (解像度300dpi) は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

<国内希望販売価格(消費税別)>

PlateRite Niagara (本体) : 2,200万円

PlateRite News 2000LE (本体) : 2,300万円

<販売開始日>

PlateRite Niagara : 2007年6月20日

PlateRite News 2000LE : 2007年6月26日